



→セメントの作り方



季節は雨季に変わり、日ごとに雨が降るようになりました。しかし、雨季を前に基礎工事のほとんどが終了したので、現在はレンガを接着させ壁面作成作業に入っています。

それまでの作業では左の写真のように、砂利とセメントそして水を混ぜ合わせて左下の写真のように地中土台の作成を行いました。この土台の上に更に学校床部分などを足していきます。はじめて見る方からすれば本当に硬くなるのか疑問に思うだろうと思いますが、乾燥した後は、日本でも良く見られるコンクリートと同じような強度になります。建設作業の多くは手作業と機械で行います。セメントも当日に職人たちが水、砂、セメントの分量を考慮し、その日に適応したセメントを練り上げていきます。



←固め終わった地中土台はレンガを使用し連結させていきます。四角いブロックのようなコンクリートが先ほどの土台が乾燥した様子です。

↓→型にはめながら、柱を作っていきます。こちらの方も職人の手作りです。



↓乾燥するまで寝かせます。



着々と工事の作業が進む姿を村人は楽しんでみているそうです。学校がどのような行程でできるのか、自分たちの子どもにも教えたいと村人は言っています。彼は作業の様子をみんなに伝え大切に使うように村人たちに伝えるとも言っています。

どうもありがとうございます。